

Webアクセス最適化 Webアクセスシェイパ

仕様 / 詳細

サービス概要図

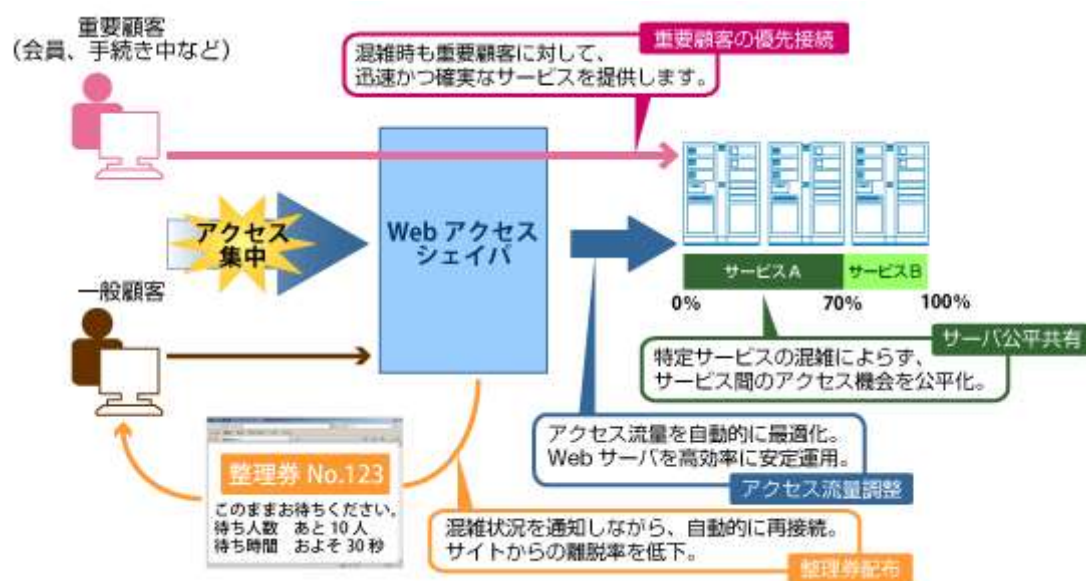
「Webアクセスシェイパ」は、

既存のシステムに容易に追加導入できます。

既存のシステムを最大限有効活用できます。

Webアクセスシェイパの導入で、サーバー増設が不要になります。

※将来のアクセス増時は別途対応が必要なことがあります。



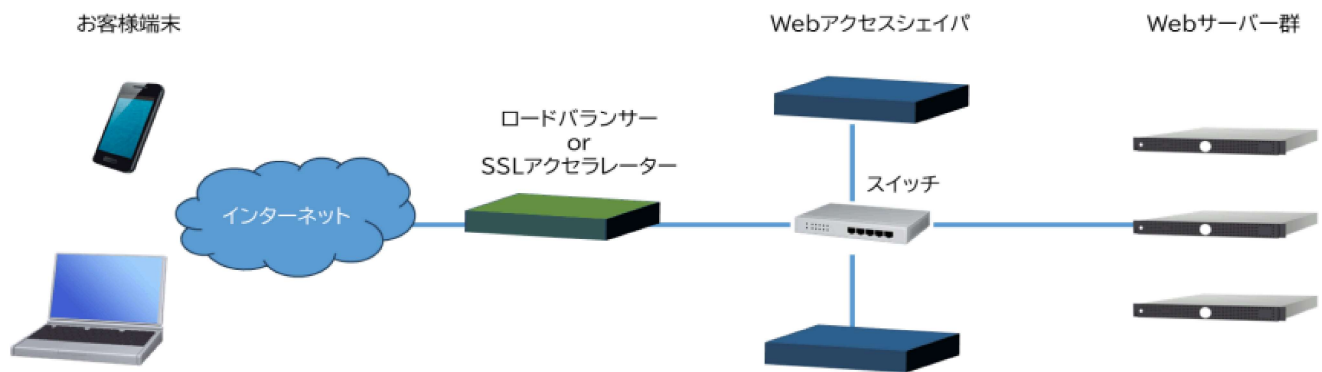
システム構成例

(1) オンプレミスでの構成例

あらかじめ指定したサーバーに対してリクエスト転送を振り分けます。

負荷(各サーバーからの応答)に応じて各サーバーへの転送量を制御します。

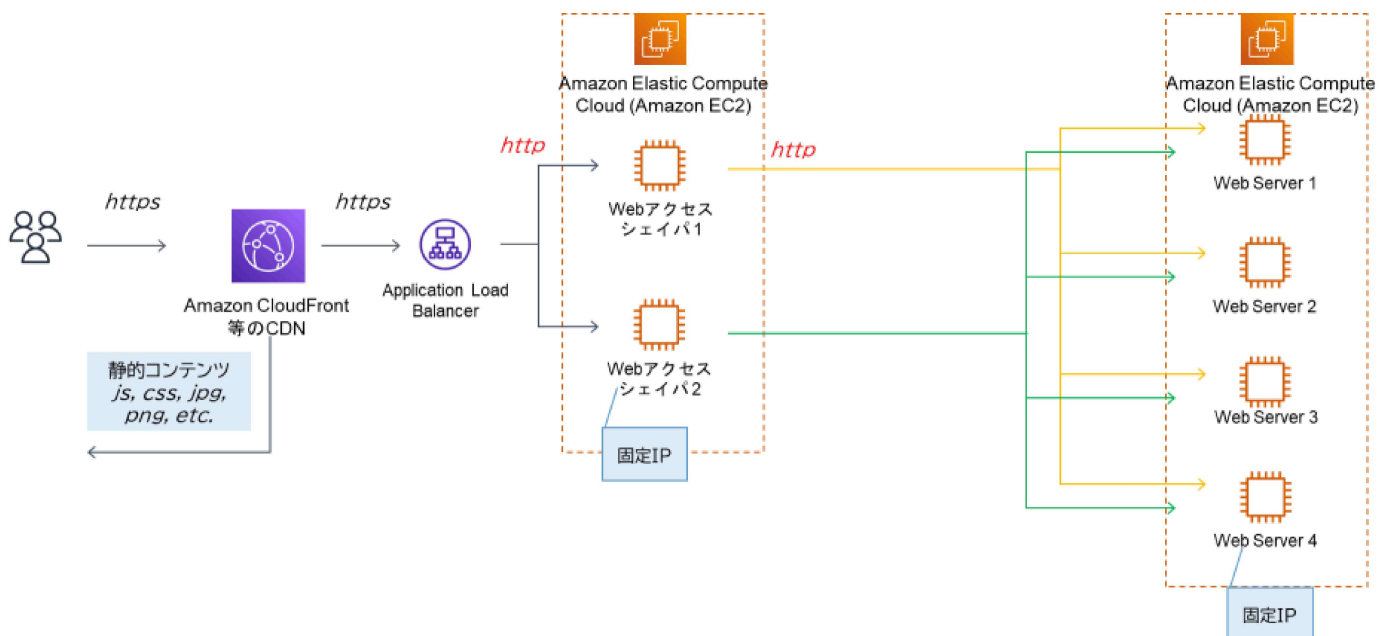
Webサーバーが1台の場合でも、その性能を引き出します。



(2) クラウド環境へ導入する例

クラウド環境のIaaS上へも導入可能です。

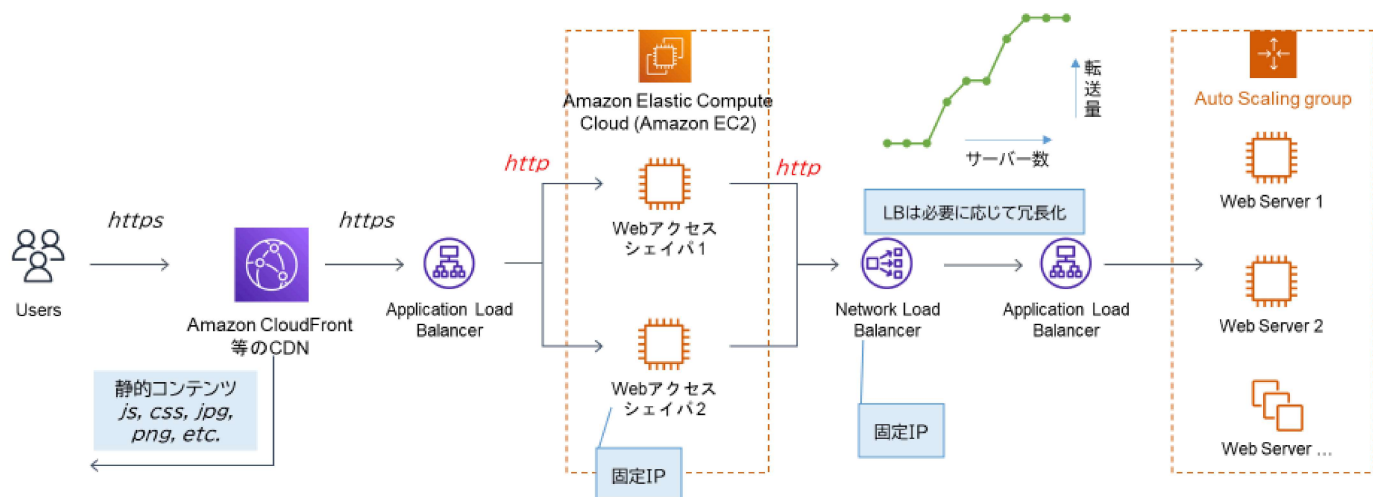
AWS と BIGLOBEクラウドへの導入実績があります。



(3) クラウド環境でオートスケーリングと組み合わせる例

こちらはAWSでオートスケーリングと組み合わせる例です。

突発的なアクセスはWebアクセスシェイパで一旦受持ち、オートスケーリングが起動するまでの時間を稼ぎます。



仕様

処理性能

No	項目			Webアクセスシェイパ	
1	運用形態			リバースプロキシ	
2	シェイピング			自動シェイピング（設定による振り分けも可能） リクエスト転送レートの制限	
3	応答 時間 制御	整理 券配 布	種別	ビジメッセージ、整理券配布	
			文書	HTML文書（文字をカスタマイズ可。例、英語日本語併記など）	
サーバー公平共有		グループ分類：URI、リクエストヘッダ 公平性の評価指標：リクエスト数			
優先 制御		キー	自動トラッキング（クッキー、URLパラメータ）、事前登録（URI、クッキー、クエリ、リクエストヘッダ）		
		優先 度の 段階	グループ間 100段階 × グループ内 5段階		
6		ロードバランシングアルゴリズム			キュー長に基づき動的に振り分けサーバーを選択 （サーバー毎の処理待ち状態）
7		パーシステンス			送信元IP、クッキー（セッションID、サーバーID）、URLパラメータ、セッションID、サーバーID （米国ではクッキーは使用できません）

No	項目	Webアクセスシェイパ
8	クッキー自動挿入（PC向機能）	セッションID、サーバーID、任意の文字列
9	サーバー障害・復旧監視	障害監視： 転送データサイズ、ステータスコード、復旧監視： TCP、HTTP
10	アクセラレーション機能	コネクション集約、メッセージバッファリング
11	メンテナンス機能	Syslog、SSH
12	HTTP転送性能	最大帯域1Gbps、10,000Request per Seconds ※設定データの設定量により処理性能は低下します。5,000RPSを想定し、設計ください。また、POSTの場合は性能が低下します。インストールするマシンの仕様にも依存します。お客様にてご確認ください。

※サーバー公平共有とは：URL毎にリソースを設定・分配する機能であり、1URLにアクセスが集中する場合でも、他のURLへアクセスするリソースを確保することが可能です。

※整理券発行：ポストリクエストにサイズに制限がございます。

※SSLの復号については、Webアクセスシェイパの前段にロードバランサを配置ください。

※Webアクセスシェイパのクッキーパーシステンス機能は米国では使用頂けません。

PAGETOP

